

第4回気高地域学校統合準備委員会の議事概要

1 日 時 令和7年6月16日（月） 18:30～20:05

2 会 場 気高町総合支所

3 出席者 【委員】22名、オブザーバー4名（欠席4名）

【気高町総合支所】職員4名

【教育委員会事務局】職員5名

4 議 事

（1）鳥取市気高地域新設統合小学校整備基本構想・基本計画について

《概要》 質疑、意見…○、事務局回答…●

●事務局資料説明

○基本構想・基本計画の12ページには、図書室の横に準備室が書かれているが、17ページの特別教室の中の図書室の横には準備室が書いていないので訂正いただきたい。

●記載させていただく。

○資料3のNo.6では屋内運動場の空調はコストを踏まえながら検討とあるが、体育館は避難所等多目的に利用されるため、空調整備は当たり前のことだと思っている。6月補正でも検証の予算を上げたと言っている。太陽光パネルについても同様に必要だと考える。それからNo.35の木材については、可能な限りでなく、積極的な木材の利用と記載いただきたかった。また、No.46の防犯灯については、地域が電気代を出すのか。不特定多数の受益者がいるので、行政が出すことも検討いただきたい。No.50の防災倉庫の設置については、学校の体育用器具庫と防災倉庫が分かりづらい事例もあるので、器具庫と防災倉庫が分かるように整備していただきたい。併せて、会議室については地域の活用もあると思うのでぜひ設置をお願いしたい。

●体育館の空調について、6月補正予算に検証用費用を上げている。今後議会承認を受けて、その後本格的に検証を進めていく。体育館という大きな空間をいかに効率的にできるかということや断熱対策の検証が必要になってくる。こういった形が良いのかこの1年間でしっかり検証して、次年度以降、鳥取市としての展開に繋げていきたい。これに関しては国の交付金の制度拡充も要望していく。

●太陽光パネルについては参考意見としてさせていただく。木材の利用については、今後しっかり検討していくので、記載は可能な限りということにさせていただきたい。続いて街路灯や防犯灯について、各地域でいろいろなやり方があるので、担当部局とも協議しながら、まず街路灯がどのように配置されるかを踏まえたうえで、負担が特定の地域だけにならないような形を検討させていただきたい。防災倉庫の関係については、運用面も踏まえて検討していく。

○通学路の整備について、道路や踏切の拡幅等の対応はしているのか。

●通学路の安全確保については、今後通学方法案をお示しするので、そのうえで議論いただきたいと考えている。各関係者との調整・確認も今後必要に応じて実施していく。

○放課後児童クラブについて、各学校で運営されている方がいると思うが、統合後に誰が運営するか等は考えているか。

●関係者と話をしたうえで、検討を進めていきたい。

○放課後児童クラブの施設部分は指定管理者のような運用になるのか。

●学校は市が管理する建物であり、その中に放課後児童クラブが活動される場所を作り、事業をしていた

だくことになるため、指定管理となるわけではない。

○資料3のNo. 21、義務教育学校への移行想定について、20年後の気高町の状況を考えると、気高中学校とともに義務教育学校に移行しなくてはならないと思う。余剰スペースの確保は困難と書かれているが、小学校の校舎が将来的に義務教育学校として使われることを念頭に置いて、設計をお願いしたい。

○以前の統合準備委員会の際にも議論があったが、その時はとにかく統合という結論になった。だからといって義務教育学校を目指すべきではないということではないと思うので、校舎建築にはそういった余裕も持って進んでいってもよいのではないかと個人的には考えている。

○資料3のNo. 7、プールについては今後検討があると思うが、プールの授業はどこかで必要なので、確保をお願いしたい。No. 49の周辺施設については担当部局で検討を進めているという回答だったが、コミセンと合わせて駐車場の整備などもでき、良いことだと思う。気高町の20年後について、これから少子高齢化が進む中で、部活動の人数等もあると思うので、個人的には気高・鹿野・青谷で小学校は小学校、中学校は中学校でまとまってほしいという願いがある。

●現在、民間等のプールを活用したあり方を検討している。今年度もモデル事業を行うなどしており、統合小学校でのあり方も併せて考えていきたい。また、気高地域の周辺施設についても関係部署と情報共有し検討を進めてもらっている。将来的な義務教育学校化については、児童数等も今後変わっていくことを踏まえて、その時期にこういった形が最適かということを考えたうえで進めていきたい。

○地域連携について、令和10年度以降に開始する教育ビジョン・教育理念の検討と併せて検討すると書かれているが、検討を前倒しにして設計に反映できるようにしていただきたい。

●スケジュールの前倒しについては、可能な範囲で検討させていただきたい。

○統合小学校検討の経緯には不満に思うところもある。今でも中学校周辺は立地が良いと思っているが、危険だという理由でなくなった。学校候補地から中学校地域が除外された理由をいつか共有していただきたい。また、最終的にJR浜村駅南側に決定された議論の経過を教えてください。そして、場所についてその他の選択肢はなかったかを教えてください。

●子どもたちを中心に考えていくべきという認識は同じであると考えている。場所については選定の際に相当な議論があった。この件については別途話をさせていただきたい。教育委員会としては地域の思いでJR浜村駅南側に決まったと受けとめたうえで進めている。

○学校統合が10年かかってもできていないのは、教育委員会のやり方にも問題はあったかもしれないが、乱暴な決め方をして今の形があるわけではないと認識しているので、経過についてしっかりと話をされてほしい。

○子どもを中心に学校建築を考えるのは同意するが、そうであれば教育理念や教育ビジョンを議論せずに学校を建てるというのは乱暴な考えかもしれないと思う。気高地域としてこういう子どもに育てほしいので、学校建築の中でこういう特色を出した、という形になれば良いと思っている。予算があることなので気高だけをという無茶は言わないが、努力したという姿は見せていただきたい。

○経緯については、議論を重ねて決まったことであるので、早く、良い学校を建築するという目的のために、全員一丸となって議論を進めていきたい。

○大事なことは子どもたちが少なくなっているということ。場所についてどうにもできないのであれば、大事なことは安全確保とその対応を十分考えていただきたい。送り迎えの混雑や学校敷地への車の出入り、駐車場等は子どもにとっての危険があるということを考えたうえで検討してほしい。また、気高

循環バスを調整するなどして、通学の負担の差をできる限りなくすような方法を探していただきたい。

●通学路の安全等については、今後案をお示しするので、それをもとに議論いただきたい。

○盛土沈下期間は十分に確保されているのか。

●必要な期間を調査し、その結果をもとにスケジュールを立てている。

○登下校について、保護者の送迎ありきでは考えないでほしい。スクールバス、循環バス等を検討して、どこの地域でも子どもたちが苦勞しない登下校というのを今後話し合っていてほしい。

○逢坂小編入の関係で、気高循環バスを29人乗りのバスに更新するということで6月補正予算が上がっている。子どもたちと住民にとって利用しやすい時間等を考慮して決めていくという模範例になるのを期待している。行政には早めに方向性を示していただきたい。

【委員長】皆様のご意見を参考にして、基本構想・基本計画を教育委員会でまとめることとなるが、委員の皆様は賛成いただけますか。この基本構想・基本計画ですべて決定ということではなく、今後も対応はいただけるものと考えている。賛成の方は拍手をお願いしたい。

(→ 拍手多数。異議等なし)

○今後の検討が進む中で情報は伝えていただきたい。希望が通らないこともあると思うが、説明等する機会はいただきたいと思う。

5 その他

(1) 土地取得や現地作業の状況について 事務局説明

(2) 次回以降の統合準備委員会の進め方について 事務局説明

《概要》 質疑、意見…○ 、 事務局回答…●

●事務局説明

○意見等なし

《次回予定》

・10月頃を予定。日程や場所等については、教育委員会が調整のうえ決定させていただく。